

病院ならびに老健と外部医療機関 との連携の実態と課題

九州歯科大学・地域健康開発歯学分野

あんさい としひろ

安細 敏弘



日本摂食嚥下リハビリテーション学会 COI開示

- 筆頭発表者名: 安細 敏弘
- 演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。





目的

- 地域での多職種連携の実態を把握すること
 - 今回は、病院および介護老人保健施設を対象

対象と方法

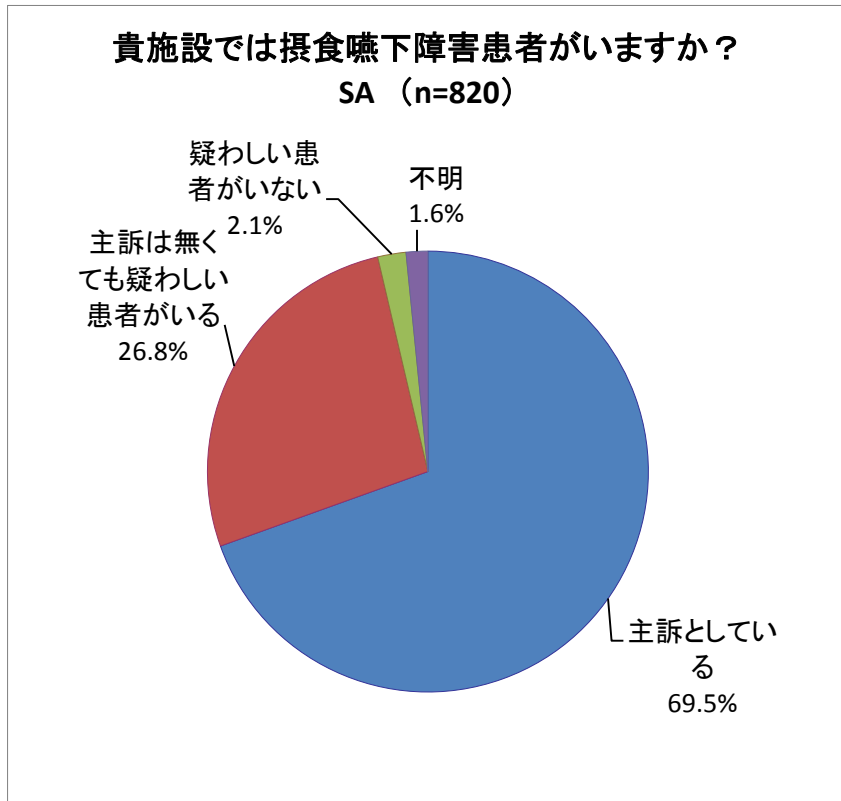
- 調査は平成26年10月から11月に実施
- 病院(全国)
 - 820/8647件(回収率9.5%)
 - 回答は医療連携室、医療相談室等による
- 老健(全国)
 - 289/3872件(回収率7.5%)
 - 回答は栄養科、リハ科、事務部等による

A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of overlapping green, purple, and blue rectangular shapes with a black crosshair.

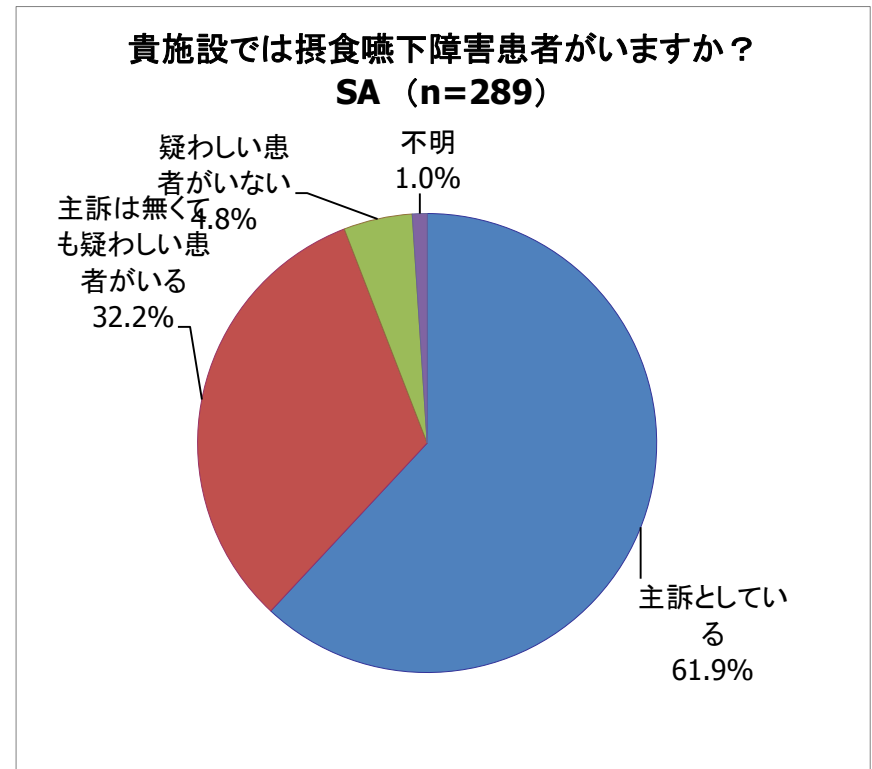
結果

主訴の有無

■ 病院



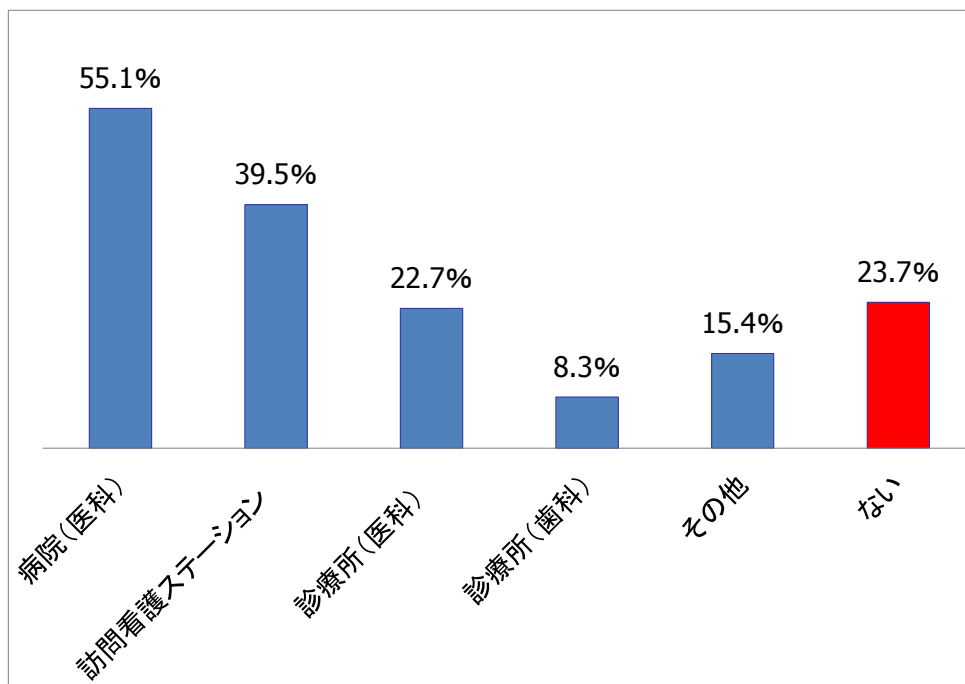
■ 老健



フォロー可能な紹介先

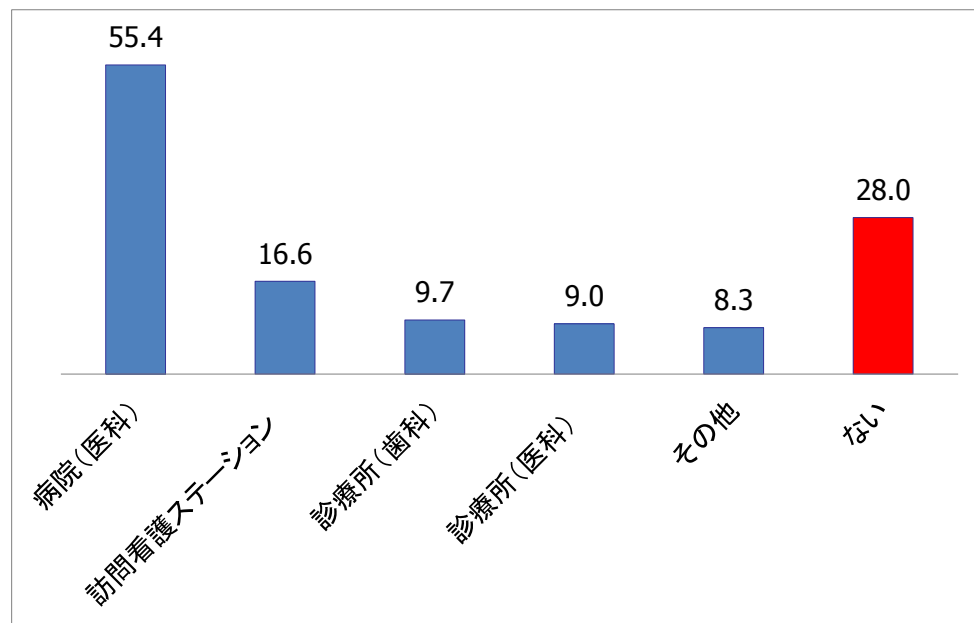
病院

- なし: 23.7% (194施設)



老健

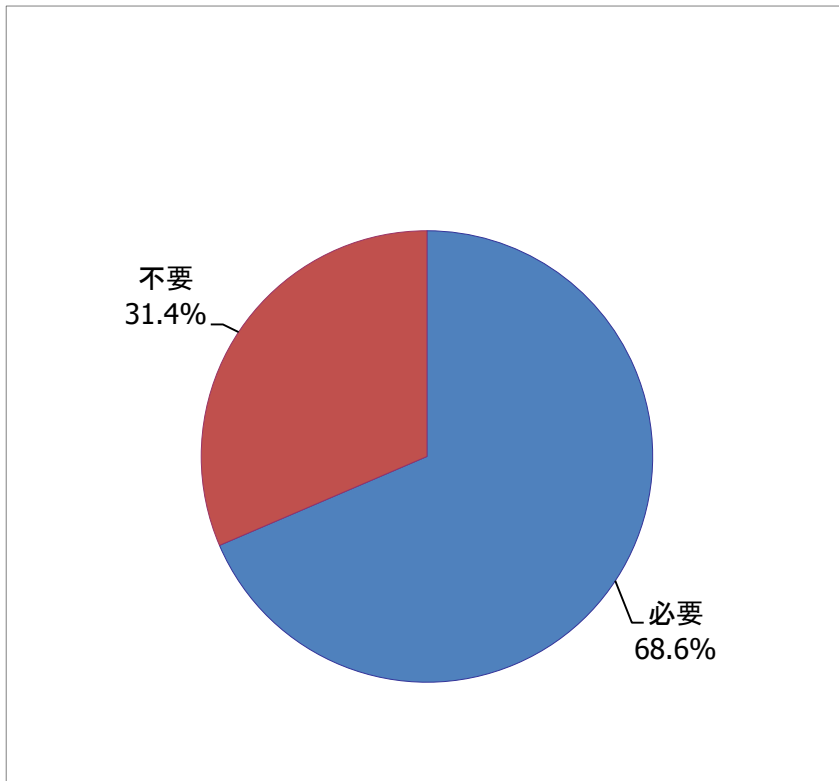
- なし: 28.0% (81施設)



紹介先がないケースのうち、

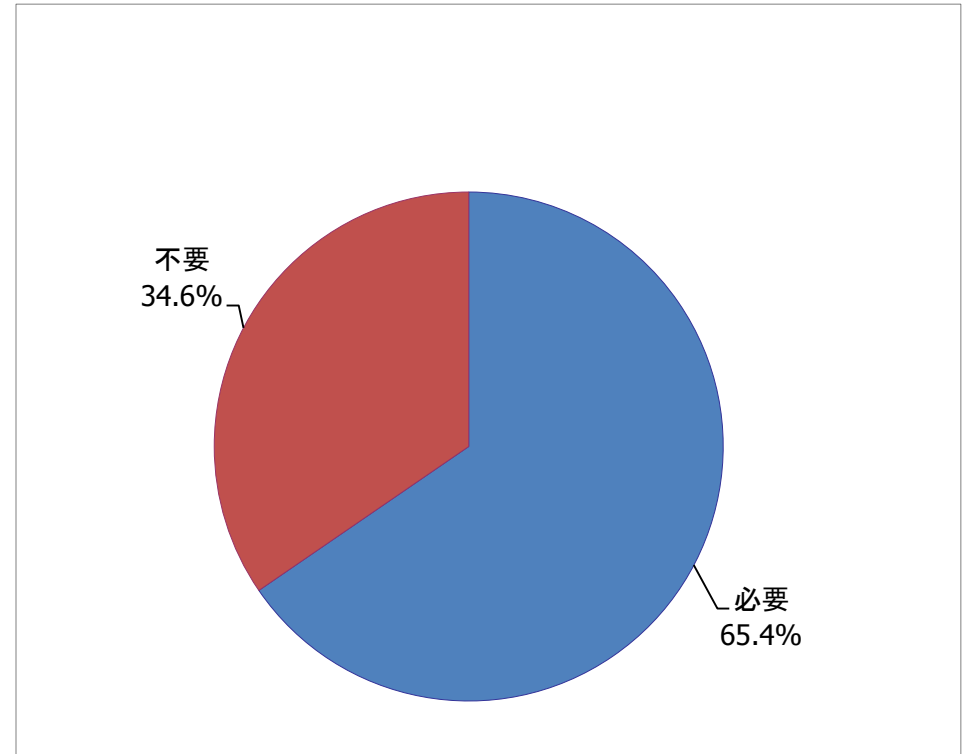
病院

- 不要: 31.4%



老健

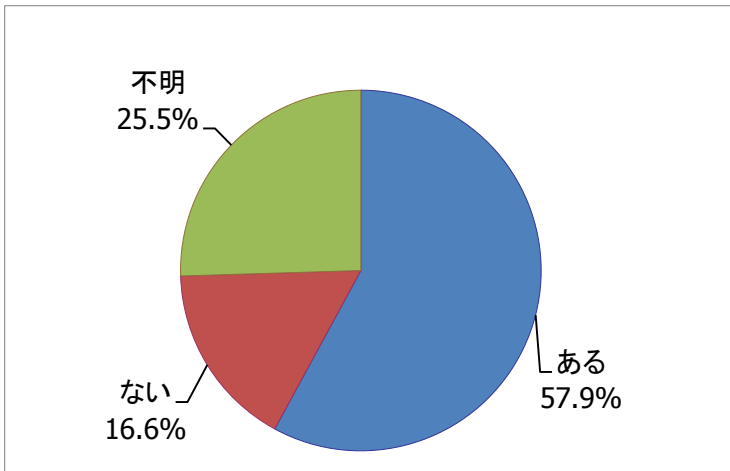
- 不要: 34.6%



多職種の取組み

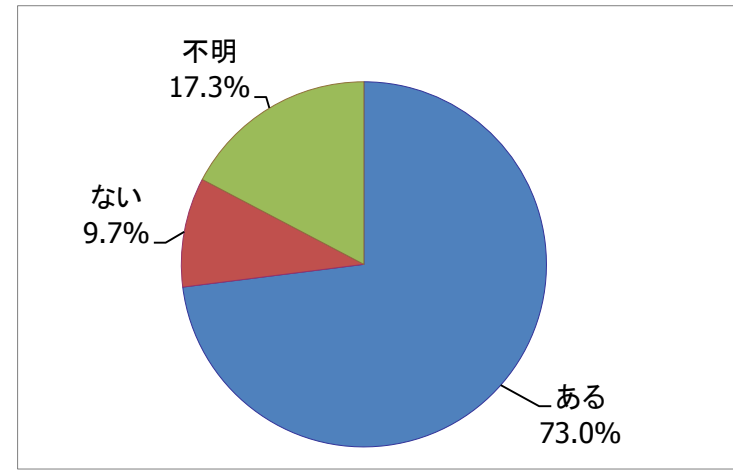
病院

- ある:57.9%
- ない:16.6%
- 不明:25.5%



老健

- ある:73.0%
- ない:9.7%
- 不明:17.3%



連携の内容

病院

- 475施設において情報共有がなされていた
 - NSTを組織
 - カンファレンスの開催
 - 在宅での訪問看護や訪問リハ等との連携

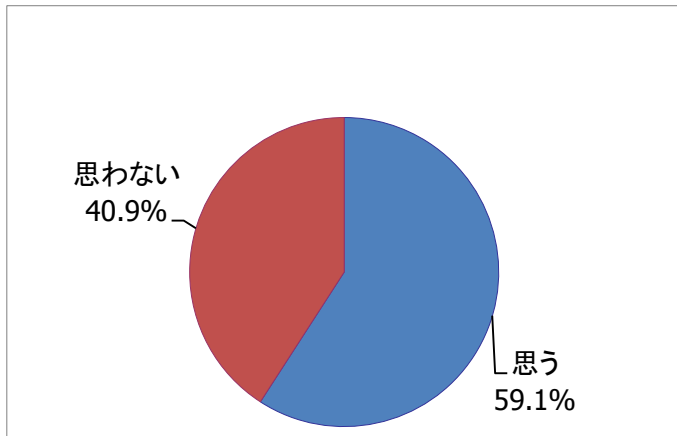
老健

- 211施設において情報共有がなされていた
 - 最適な食事方法や食事形態、摂食姿勢等を多職種で検討する
 - 栄養ケアプラン作成時に多職種で連携する
 - DHやPTによる食前の健口体操の実施
 - 次施設へ栄養連絡票(経口・経管、好み、食形態など)を持参させる

連携がとれている地域との情報交換

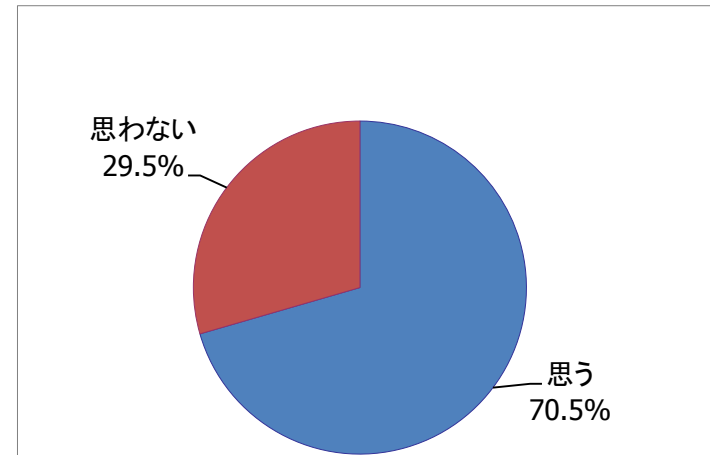
病院

- したいと思う: 59.1%
- 思わない: 40.9%



老健

- したいと思う: 70.5%
- 思わない: 29.5%



回答数

病院

- 多かった都道府県
 - 北海道 …… 60施設
 - 東京都 …… 58施設
 - 埼玉県 …… 36施設
 - 愛知県 …… 34施設
 - 大阪府 …… 49施設
 - 福岡県 …… 42施設
 - 鹿児島県 …… 33施設
 - ……

老健

- 多かった都道府県
 - 東京都 …… 20施設
 - 神奈川県 …… 14施設
 - 静岡県 …… 13施設
 - 愛知県 …… 18施設
 - 大阪府 …… 15施設
 - 兵庫県 …… 11施設
 - ……

回収率

病院

■ 高かった都道府県

- 新潟県 13.6%
- 岡山県 13.4%
- 鳥取県 13.0%
- 佐賀県 12.8%
- 長崎県 12.5%
- 鹿児島県 ... 12.5%
- 三重県 12.4%
- ...

老健

■ 高かった都道府県

- 京都府 ... 13.4%
- 静岡県 ... 12.4%
- 山形県 ... 12.2%
- 三重県 ... 12.1%
- 東京都 ... 11.4%
- 福井県 ... 11.1%
- 宮城県 ... 11.0%
- ...

課題と今後

- 回答率が高い県でも12～13%で低かったこと
 - 今後どう周知していくか？
- 紹介先を必要としない3割の施設の分析
- 特養を対象とした調査の実施
 - 現在、web調査の準備中

A decorative graphic consisting of overlapping colored squares (blue, purple, green) and a black crosshair is positioned on the left side of the slide.

まとめ

- 全国の病院ならびに老健施設を対象にweb調査を行ったところ、2～3割に決まった紹介先がないことがわかった。
- さらに3割は新たな紹介先を求めていることもわかった。
- 連携の取組みやスタンスにバラツキがあるため、その根っこにある原因の把握と解決が求められている。